

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

5月1日は「市民の日」であることをご存じでしょうか。

さいたま市誕生を記念して制定した「市民の日」は、本市の歴史や文化に親しんでいただき、市民の皆さんと一緒に、魅力ある市を将来にわたって創っていききたいという思いから、様々な催しを企画しています。

特に今年は「市民の日」を制定してはじめて5月1日が平日となります。すべての市立学校が休校になり、この休みを活かし、ご家族やご友人と市内の様々な場所の訪問を計画した方も多いのではないのでしょうか。

この機会に本市の魅力をぜひ再発見して下さい。



【プロフィール】

昭和37年3月25日 生まれ
平成21年5月～さいたま市長
昨年5月の選挙では、過去最多
得票と得票率で当選。共栄大
学客員教授、指定都市市長会
副会長も務める

九都県市首脳会議が開催



今回の首脳会議（オンライン）において私からは、現在の子どもの医療費助成制度は各地方自治体が独りに制度を設計していることで、助成内容に差異が生じており、国が掲げた「子育て支援」とは整合性が取れないばかりか、関東圏内の地方自治体

では大きな財政負担となっている現状を踏まえ、地方自治体の財政状況に関わらず全国どこに住んでも同じ医療を受けられる「安心を保障」するために、「国による全国一律の子どもの医療費助成制度の創設」を提案し、各首脳の賛同を得ました。

さいたま市立病院東館 リニューアルオープン



令和元年12月の新病院開設に伴い、その役割を終えていた旧周産期母子医療センターが用途を変えた新たな施設として令和5年5月8日より開業します。1階は救急ワークステーション、2階はスポーツ医学総合センター3階はシミュレーションラボとなります。

特に1階の救急ワークステーションは、医療機関に救急隊員を派遣し、隊員の知識や技術を向上させる教育の拠点であり、救命救急訓練等を行うことで市民の安心安全をさらに向上させることに繋がると考えます。

